

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	博物館管理事業			事業番号	008-062
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進		
		有	取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進						
		寄与するKPI	有・無	指標名	大仙公園エリアへの来訪者数					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9			
		有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信						
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
2	関連計画	無								
3	事業開始年度	昭和 55 年度			点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	博物館法・文化財保護法								

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関									
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民及び本市への来訪者					対象数	1,111,000		単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	博物館（堺市茶室含む）及びみはら歴史博物館（指定管理）を安全で快適な施設として、市民や来館者を受け入れられるよう、施設の運営及び維持管理を適正に実施する。									
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>博物館の警備、清掃、機械運転、受付などの施設の運営に関する委託事務をはじめ、老朽化した施設・設備の保守点検及び修繕工事など、博物館の維持管理に必要な対応を適宜実施する。みはら歴史博物館については、指定管理者のモニタリング等を通正に行う。</p> <p>&lt;スケジュール&gt;</p> <p>（4月中）4月1日から履行する業務委託契約等を締結</p> <p>（随時）設備保守点検等その他の業務委託契約等を業務開始日までに締結</p> <p>（随時）業務履行確認、委託料等の支払い</p> <p>（随時）施設、設備の不具合に係る修繕工事</p> <p>（毎月）光熱水費、通信運搬費、リース料等の支払い</p> <p>&lt;令和3年度年間契約件数&gt; 業務委託23件、修繕・工事34件、リース5件、保険2件</p>									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載										
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業務契約等の受注者									
10	公民連携・協働事業										

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度	
	入館者数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
			目標値	100,000	100,000	100,000	150,000	
			実績値	86,933	74,292			
達成率	87%	74%						
	当該指標を選定した理由	館蔵資料を適切に保存管理するとともに、当館で快適に過ごすことができる環境を整えることは、入館者へのサービスの向上、引いては、入館者増に寄与するため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	博物館への入館者数（無料入館・茶室利用者数含む）。令和2・3年度はコロナ禍により目標値を下げる。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標			
	博物館の設備不良による休館日数	日	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
			目標値	0	0	0		
			実績値	0	0			
達成率	100%	100%						
	当該指標を選定した理由	入館者が安全で快適に過ごす環境を整えることは、施設・設備不良による休館が無いことが前提となるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	上記に同じ						

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	博物館管理事業	事業番号	008-062
-------	---------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	113,103	113,720	201,650	178,953	244,443
13財源内訳					
国支出金					0
府支出金					0
市債	0	0	2,100	0	35,200
その他 (基金繰入金・物品売払収入)	10,346	352	116,708	12,613	115,213
受益者負担金(使用料、手数料等)	3,708	5,983	9,516	18,578	22,693
一般財源	99,049	107,385	73,326	147,762	71,337
14人件費 (b)	31,670	36,440	36,440	36,440	39,400
15年間経費(c)=(a)+(b)	144,773	150,160	238,090	215,393	283,843

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	会計年度任用職員報酬等	R3	決算	25,902	25,902	みはら歴史博物館指定管理料	R3	決算	40,469	39,739
		R4	予算	29,924	29,924		R4	予算	40,690	40,111
	施設保守点検等委託料等	R3	決算	59,427	56,677	茶の湯体験学習プログラム実施業務	R3	決算	0	0
		R4	予算	65,655	0		R4	予算	0	0
	施設・物品等修繕料、予防保全用施設老朽化改修工事	R3	決算	12,083	177	その他備品購入費	R3	決算	439	439
		R4	予算	14,000	0		R4	予算	1,600	1,302
	冷暖房設備更新工事、屋根改修工事設計業務等	R3	決算	1,157	1,157	国際文化観光基金積立金	R3	決算	15,121	0
		R4	予算	47,654	0		R4	予算	5,316	0
	電気・水道、ガス使用料	R3	決算	21,141	20,457	その他 (LEDリース料、負担金、役員費、委員報酬等)	R3	決算	3,214	3,214
		R4	予算	35,436	0		R4	予算	4,168	0

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		① 入館者数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	113,720	178,953
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,308	2,409
備考 (算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 令和3年度は、令和2年度よりもコロナによる臨時休館日が増え、来館者数は更に減少した。令和2年度同様、団体での来館者がなく、開館中も学校訪問や普及事業が中止となり、来館者数は更に減少した。  
 【参考】開館した日数/当初の開館日数：令和2年度 260日/300日、令和3年度 227日/311日  
 観覧料等/観覧者数：3,469,900円/37,359人  
 なお、令和3年度の事業費の増額は、さかい利品の杜学芸系事業、みはら歴史博物館管理運営事業の統廃合により、利品の杜勤務の会計年度任用職員に係る報酬等やみはら歴博の指定管理料等が本事業に統合されたことによる。

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 本事業は、当館の管理運営の基礎となる施設・設備の維持管理を適切に行い、来館者等の受入れ環境を整えることであり、コロナ禍においてもこれらのことを着実に実行し、大仙公園エリアの来訪者増に寄与した。具体的な取組みは次のとおり。

- 受付、警備、清掃、設備運転監視など各種委託業務や物品のリース業務の履行を監督し、適切な館の維持、管理、運営を行った。
- 館内に受付パーテーション、消毒液、非接触式電子体温計、サーモグラフィーを設置し、万全の新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じた。
- 予防保全用施設老朽化改修工事として2件の工事を行った。
- ・監視カメラ増設工事  
当館入館者、所蔵資料等のセキュリティを向上させるため、受付、グッズコーナーなどロビー、地下ホール、車両通用口、警備員室前に監視カメラを増設した。
- ・館内手洗いの自動水栓化工事を含む便所改修工事  
コロナ対策として、自動水栓化工事を実施した。併せて、開館以来で唯一本格的な改修工事を行っておらず、悪臭が発生していたIRCI（無形センター）事務所側の男子、女子、多目的便所の改修工事を行い、環境改善を図った。
- 施設点検で指摘された不適格項目や、消防設備、空調、非常扉、照明器具、シャッターなどの不具合・故障を修繕し、耐用年数を経過した排水ポンプやフィルター等を順次取替えるなど施設の維持管理を行い、来館者が当館で安全かつ快適に過ごせるための館内整備を行った。